

平成 27 年度卒業式学長式辞（28 年 3 月 18 日）

今年は、3 月に入ってから寒い日が続きましたが、少しずつ春の息吹も感じられるようになってきました。南の地域からは、桜の便りも聞こえてきています。こうして、今年も、卒業生の皆さんが本学から巣立つときを迎えました。

本日ここに、駿河台大学第 26 回卒業証書・学位記授与式に当たり、学士課程 5 学部を卒業される 755 名の皆さん、修士課程 3 研究科、専門職学位課程を修了される 15 名の皆さん、心よりお祝いを申し上げます。

ご父母の皆様、ご子息、ご息女のご卒業を心よりお慶び申し上げます。皆様におかれましては、お子様のご卒業を迎えられ、安堵感とともに、一人前の社会人として羽ばたいていかれる姿をご覧になって、感慨もひとしおのことと拝察申し上げます。あわせて、本学に対するこれまでのご支援に、心より感謝申し上げます。

また本日は、ご多忙の中、ご来賓多数のご臨席を賜り、篤く御礼申し上げます。皆様におかれましては、日頃より、本学の教育・研究に深いご理解と多大のご支援をいただき、この場をお借りして御礼申し上げます。

さて現在のわが国は、人口減少社会の到来、国際経済競争力の相対的低下、グローバル化のさらなる進展など、数多くの課題にさらされています。知識や技術の急速な発達、人口知能の大いなる進歩により産業構造も大きく変わろうとしています。こうしたなかで、新しい事業が生まれ、これまでにない職業が登場してきます。いまある職業のうちどれだけのものが今後 10 年先、20 年先に残っているのでしょうか。多くの仕事が機械やコンピューターに取って代わられることでしょう。今後は、人間でなければできない仕事、人間相互のコミュニケーションに支えられた職業が特に重要になってきます。これからの社会を支える人に求められるのは、大きく変化する社会の課題を的確に捉え、自分自身の頭で考え、新しい方策を見出し、これを実現していく力です。そのためには、常に新しい知識や情報を吸収し、自分の能力を高めようとする力、困難な事態に積極的に立ち向かおうとする力強さ、円滑なコミュニケーションのもとに他の人と協働して仕事を進めていく力が求められます。これらの力は、社会がどのように変わっても、それぞれの人の仕事が変わっても、生きていく上で常に必要とされる力です。

本学は「愛情教育」の理念に基づき、これらの力を「駿大社会人基礎力」として、その修得を目標に教育を行っております。この教育を通じて、卒業生の皆さんは、専門分野の基礎的知識を踏まえ、考える力、行動に移す力、協働する力、総合的な力など、社会のどの分野で働いても必要とされる力を備えておられるはずです。

卒業生の皆さんは、本学で身に付けた「駿大社会人基礎力」をもとに、常に新しい知識を吸収し、先端的技能を身に付けるなど、自己研鑽を重ね、これらの力をさらに発展させ

ることで、これからの時代をたくましく生き抜いて行かれるものと確信しております。皆さんの勉強は、大学卒業をもって終わったわけではありません。本当の勉強はこれからです。歌人であり、私の恩師の恩師でもある会津八一先生が若い学生に贈った言葉に「日々新面目あるべし」という言葉があります。日々学業に打ち込み、成長するように、との趣旨です。皆さんも、卒業後も絶えず自分を磨き、日々成長を続け、面目を新たにしてください。本学も、大学院や社会人向けの講座を通じて、新しい知識や情報の提供のみならず、これからの社会に必要な人材を育成するという責務を果たし、皆さんの学び直しの要請に応える所存であります。

さて卒業式に当たり、卒業生の皆さんには2つのことをお願いしたいと思います。1つは、本日受け取った卒業証書を、ぜひとも感謝の言葉を添えてご父母の皆さんにお見せしてください。皆さんが生まれてから今日まで、ときには励まし、ときには心配しながら見守り、皆さんをずっと支えてきてくださいました。そのお気持ちに感謝して、改めてお礼の言葉とともに卒業証書をご覧ください。

もう1つは、先輩としてです。皆さんはこれまでご父母や教職員、先輩や地域の方々に多くのことを教わり、成長してきました。皆さんは、もちろんこれからも成長のための努力をしなければなりません、それとともに後輩の諸君に自分が勉学や就職活動、ゼミや部活動などの課外活動で学んだことを伝え、後輩諸君の成長を手助けしてほしいのです。本学は今年創立30周年を迎えます。卒業生も約25,000人になろうとしています。これらの同窓生と共に、駿河台大学と学生諸君を支えていただければと思います。どうぞよろしくをお願いします。

最後になりましたが、卒業生の皆さんが、本学で培ったさまざまな力を最大限に発揮されることで、実り多い人生を過ごし、社会で活躍されるようお祈りして、ご卒業のお祝いの言葉とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。

平成28年3月18日
駿河台大学 学長
吉田恒雄